

令和元年11月15日

於 教育委員会室

令和元年11月

大和市教育委員会定例会

大和市教育委員会

令和元年11月大和市教育委員会定例会

○令和元年11月15日（金曜日）

○出席委員（5名）

1番	教育長職務代理者	青 蔭 文 雄
2番	委 員	小 松 俊 子
3番	委 員	森 園 廣 子
4番	委 員	前 田 良 行
5番	教 育 長	柿 本 隆 夫

○事務局出席者

教 育 部 長	佐 藤 健 二	こ ども 部 長	樋 田 久 美 子
文 化 ス ポ ー ツ 部 長	小 林 心	教 育 総 務 課 長	馬 場 誠 一
学 校 教 育 課 長	溝 口 広 幸	保 健 給 食 課 長	遠 藤 隆 久
指 導 室 長	板 坂 和 明	教 育 研 究 所 長	中 村 美 紀
青 少 年 相 談 室 長	新 井 隆	こ ども ・ 青 少 年 課 長	徳 永 英 和
図 書 ・ 学 び 交 流 課 長	中 丸 信 孝		

○書 記

教 育 総 務 課 政 策 調 整 係 長	金 子 純 一 郎	教 育 総 務 課 政 策 調 整 係 主 査	川 井 克 己
-----------------------	-----------	-------------------------	---------

○日 程

- 1 開 会
- 2 会 議 時 間 の 決 定
- 3 会 議 録 署 名 委 員 の 決 定
- 4 教 育 長 の 報 告
- 5 議 事
- 6 そ の 他
- 7 閉 会

開会 午前10時00分

○柿 本
教育長

ただいまから教育委員会11月定例会を開会いたします。

会議時間は正午までとします。

今回の署名委員は、2番、小松委員、3番、森園委員にお願いいたします。

続きまして、教育長からの報告をさせていただきます。

初めに、前月定例会以降の動きについて報告いたします。

26日は、大和市文化祭表彰式に出席いたしました。ことしも絵画と書と写真の部でそれぞれ優秀な作品に対し、賞をお贈りするとともに、文化芸術顕彰の対象になられた4人の方に、文化芸術賞、文化芸術振興賞、文化芸術未来賞が贈られました。

また、26日は、町田で行われておりました武相華道展ものぞかせていただきました。

27日には、渋谷小学校で運動会がとり行われました。地域の行事との日程調整により、この日の実施となりましたが、秋の運動会にふさわしい天候に恵まれました。恒例の全校による大玉送りがとても盛り上がっておりました。この渋谷小学校の運動会をもって、今年度の全ての運動会が無事に終了いたしました。大きな事故もなく開催できたことをとてもうれしく思います。

10月と11月は、地域のふれあい広場が開催される時期でございます。ことしも各地域でそれぞれ工夫を凝らして催され、子供たちを中心にふれあいの輪が広がりました。私は、27日に上福田地区と下鶴間・つきみ野地区、深見地区を回らせていただきました。また、11月2日には、文ヶ岡小学校、4日には渋谷西地区、10日には大和地区のふれあい広場ののぞかせていただきました。

日にちが戻りますが、10月27日には、大和市環境ポスターコンクールと下水道ポスターの表彰式に出席いたしました。環境問題が深刻化する中、行動できる人へと育ててほしいと思います。

29日には、市長が語る大和市と県都市教育長協議会に出席いたしました。

30日は、交通安全協議会役員会が行われ、年末の交通事故防止運動や、安全なまちづくり推進大会について審議されました。

11月1日には、草柳小学校で研究発表会が行われ参加いたしました。草柳小学校は、平成29年度より3年間、大和市教育委員会より指定を受け、教育課題研究に取り組んでまいりました。ともに学び、とも

に生きるをテーマとして明確に伝え合う力の育成を目指して、国語において、主張、根拠、理由づけの3点を授業に生かす実践研究を進めてまいりました。研究授業では、昨年度の中間発表よりもさらに変容した子供たちの姿を見ることができました。この研究を契機に、さらなる授業実践力の向上に取り組んでいただきたいと思います。

11月2日には、ツリーガーデン、13回目の誕生日を祝う会に出席させていただきました。子供たちの創意を生かしたトーテムポールづくりや芋掘りなど、楽しい企画が準備されておりました。

4日は、大和市PTA連絡協議会のバレーボール大会の開会式に出席させていただきました。この大会も44回目を数え、市内の全PTAが参加するこれだけ大きなイベントが続いてきたことは、県内でも珍しく、他地域からも注目を集めております。これからも親睦を図りながら市内の保護者、教職員のネットワークを強いものにしていただけたらと思います。

同じく4日には、やまと子ども絵画大賞の表彰式が笹倉鉄平版画ミュージアムで行われましたので参列させていただきました。

6日には、大和市小中学校教育研究会教育講演会に参加させていただきました。講師は、埼玉医科大学国際医療センターの大西秀樹教授で、がん患者の心のケアに取り組んでこられた方です。がん患者の生と死を見つめる中から、私たちは人間として何を大切にしていかなければならないかを教えていただき、中でも学校現場に置きかえてお話いただいた内容はとても参考となるものでした。

8日には、県中学校文化連盟大和支部総合文化祭音楽会の開会式で挨拶させていただきました。各校の代表による合唱の発表ということで、緊張感がみなぎっておりました。

10日には、大和市少年柔道大会の開会式に参加いたしました。

また、同日10日には、大和市60周年記念事業として「子ども議会」が開催されました。子供たちが市長、議長、教育長、そして議員の役割を担い、文化、地球環境、教育、大和市の未来の4つのテーマについて、それぞれ自分の意見を発表してくれました。一人一人が堂々とした態度ですばらしい子ども議会となりました。

11日には、鎌倉で市町村教育長会連合会の総会が行われました。情報交換では、台風19号の際の各市の対応と課題が報告されました。どの市も地震を想定した避難所開設を準備していたことから、水害への対応が弱く、体育館だけでなく、急遽、教室を開放したり、垂直避難が求められたりと多くの混乱が見られたとのこと。こうした課題を整理

して、大和市も水害に対する避難想定の準備を学校の協力を得ながら進めてまいりたいと考えております。

13日には、学校訪問で文ヶ岡小と大和中、そして、ことしの4月に開設いたしました特別支援教育センター・アンダンテを訪問いたしました。アンダンテでは、4月以降の状況を中心に説明を受けました。予想を上回る子供たちがアンダンテを利用してくれていることは、とても喜ばしいことですが、子供のニーズに職員の人数がついていけない現状がよくわかり、職員の増員が何としても求められております。できるだけの対応を考えていきたいと思っております。

14日には、県教育研究所連盟、教育研究発表大会が総合教育センターで開催され、開会式に参加いたしました。大和市は、2つの分科会で発表いたしました。

次月定例会までの日程につきましては、説明は省略させていただきます。

最後に、12月市議会第4回定例会の日程に触れさせていただきます。本会議初日は、11月26日、最終日は12月20日です。また、一般質問は、12月13日、16日、17日の3日間を予定しております。また、文教市民経済常任委員会は11月29日に、厚生常任委員会は12月2日にそれぞれ予定されております。

以上で、私からの報告を終わらせていただきます。

ただいまの報告に関しまして、補足、質疑等ございましたら、お願いいたします。

○前田委員 教育長のお話の中にもありましたが、11月1日の草柳小学校の研究発表会に行かせてもらいました。

主張、根拠、理由づけの3点セットを元にして、自分の考えを子供たちが明確に伝え合う力が身につけてきていると感じました。それに伴って、先生方も指導力がついてきていると感じました。

それから、13日の学校訪問、2校とアンダンテに伺いました。文ヶ岡小学校では、学力向上に向けて非常に努力されていると感じました。教員の経験年数に関係なく、学年間で自由に自分の考え、意見が言える雰囲気をつくって、それぞれお互いに研さんしていこうという雰囲気が感じられまして、子供たちの学力と同時に先生方の力も身につけてきていると感じて、とてもうれしく思いました。

○小松委員 私も前田委員が言われたこととほぼ一緒でございますけれども、まず、1日の草柳小学校の研究発表会、今までの先生が生徒に教える受け身の授業からこれからは変わっていくという中で、研究の3年目という

ことだったので、自分の考えを明確に伝え合う力の育成を進めてきたことによって、先生も、そして子供たちにも力がついてきているのを感じました。やはりこれは先生の指導力がとても問われます。子供たちの意見はちょっとしたものでも吸い上げ、それをどのように発展させていくのか。もちろん子供たちの中でも発展させていくのですけれども、教師側の一言でまたさらに発展するという点では、これからまた先生方にとって本当に指導の難しさが増してくると思いつつも、3年間の研究の中で、先生方も力をつけているというのを感じて見させていただきました。

13日に学校訪問をさせていただいた中では、文ヶ岡小学校、大和中学校、どちらもやはり校長先生が本当に軸となって、学習について色々な問題に取り組んでいってくださっています。

文ヶ岡小学校は、やはりコツコツと5年間かけて結果が出てきていると感じました。そして、先ほど前田委員がおっしゃられたように、先生方が自由に自分たちの思いを伝え合えるという環境をつくり出しているということがすばらしいと感じました。それが、子供たちにも反映されてきている。わずかではありますけれども、少しずつ学力も上向きになってきている。今後もこのスタイルを継続していただきたい。そして、他校でもそういったものを見習っていただきたい。1校だけにとどまらず、全体がそうになっていけばいいなと感じました。

大和中学校は、先ほどお話したように、自分の考えを明確に伝え合う力の育成に、今、取り組んでいる最中だと感じました。先生のご苦勞を考えると、まだ道半ばというところではありますが、それでも先生方が校長先生を中心にそこに向かっていこうという、若干、もう一歩、もう少しそちらに向かって欲しいと感じられたところもありますけれども、ただ、校長先生がしっかりやっけてくださっているのです、これからますます期待したいと思いました。

アンダンテに関しまして、開所してから初めて見学させていただいて、先ほど教育長がおっしゃったように、想像以上の利用者数、これがよいのか悪いのかというところではありますが、やっぱり人です、人がどうしても足りない。本来であれば、もう少しコンスタントに抽出できるような環境が整われてくると、子供たちも、今、状況的には2週間に1回とか、1カ月に1回、それは子供側の理由もあるかもしれませんが、お話を聞く限りでは、もう少し人がいれば、もう少しコンスタントに通えるようになるとの声も多く聞こえてきました。これは本当に私たちに課せられた喫緊の課題と思いつつも、話を聞いておりました。

ただ、色々なことを経験しながら、そこで学び合えることも実はあります。学校に戻ってまた違った環境の中でというように、最終的にはやはり母体は学校ですので、学校の中で生活できるような環境に何とかまた持っていけると良いと思いながら、でも少ない職員の中で今、一生懸命、四苦八苦頑張っていたただいている姿を見て、本当にこれからちょっとどうしていったらいいのか、と考えながら帰ってまいりました。

○森 園 委員 ふれあい広場がいろいろ各地区で開催されております。このふれあい広場は、大体33年経つとは思いますが、子供たちが異学年を通して、また歩いて行ける距離の子たちが道路1つで学校が違ってはいけない、1つになろうということで、それを目的に開催された子供たちへの居場所づくりでございましたけれども、今はもうそこに地域が入り、そして学校、PTAの方、皆が入った地域祭として本当に根差していると、最近つくづく感じます。特に文ヶ岡小学校は、本当に学校、PTAのお母さんたちが全力を尽くしてこの行事に尽力していただいている、ふれあい広場も時間がたつとこのように変わっていくのだなあと、本当に喜ばしく思っております。

草柳小学校の研究発表でございますが、前田委員も小松委員も申し上げていらっしゃるのとおり、学力について若い先生方が国語力はどういうことかというのを非常に取り入れてくださっている。特に、表現力に力を入れていて、子供一人一人を、満遍なく大勢の子を発表させるような形で導いていて、非常に頑張っているとお見受けできました。

次に、子ども議会です。おそらくこれは昔、子どもサミットとして同じようなことが開かれておりました、その後、そのような形が開かれなかったのが、またこれで形を変えて子ども議会ということで、これもまたやはりあってしかるべき1つの子供たちへの場づくりで、今回開催されて本当によかったと思ひ、今回聞き及んでおります。

次に、学校訪問でございますが、文ヶ岡小学校、大和中学校に参加させていただきました。

文ヶ岡小学校は、学力の面でどこが足らなくて、どこに力を入れているか、それを年代で追って今に到達していることが非常によくわかりました。このような考え方で、いろいろなことを一生懸命に先生方が考えてくださっていると、力を入れなくてはいけないもの、注視するものと分かれてくるので、学校全体で先生方が同時に把握なさっていることがよかったですと思ひました。小松委員がおっしゃったように、文ヶ岡小学校だけでなく、ほかの学校にも、そのようにやっていただきたいと思ひま

した。

大和中学校は一生懸命なさっていますが、やはりまだまだです。私も大和中学校の学校訪問はこれで3回目だと思いますが、これから頑張ろうという意欲は感じられていますけれども、まだまだ課題が多いのではないかと思います。

ただ、学校訪問に行っても本当に1時間、しかもその時間の一部という短時間で見なくてはいけないので、出された資料で私たちは感覚的にそれを捉えなくてはいけない部分があります。特にいじめ、それから不登校の問題は、この1枚の紙の中に書かれた中でどの子が問題で、この学校はどうすべきかを考えながら質問しなければならず、また、教えていただかなければいけない。不登校問題の場合、いろいろ対比した細かい様々なものを出されるのも、それは解決の方法の一手段として素晴らしいこととは思いますが、やはりストレートにどの子がどういう状態にいて、この子が今こういう問題だということを的確に教えていただきたい。よりそのように感じました。

○柿本

ありがとうございました。

教育長

青蔭委員、お願いします。

○青蔭

もう3委員の方が言い尽くしておられますので、これ以上は蛇足となりますので、私からは特にございません。

委員

○小松

ひとつよろしいでしょうか。

委員

この中には載っていませんが、今回、下福田小学校の英語の国際交流の参観をさせていただきました。

モニターを利用して英語でのコミュニケーションということで、先生の準備も大変と思います。子供たちは、もちろんまだまだ自分たちだけでストレートに意思疎通ができるわけではないので、例えば、言いたいことなど事前の準備をし、一生懸命調べて、書いてという状況ではありますけれども、それでもお互いの文化の違い、言葉の違いであったり、生活スタイルの違いであったりを感じることができ、また向こうは日本語を学習したい、こちらは英語を学習したいという様子でした。

ちょっと残念だったところとして、モニターの映像が途切れてしまうところがありました。こちらの映像は向こうに映っていますが、あちらからの映像と音が聞こえてこないということがあって、おそらくあちらの機械の問題だと思います。向こうで先生が一生懸命「静かに、静かに」と子供たちに指導する様子とか、本当に距離があるところで、違う文化をお互いに感じることができる。まだまだ事前の準備に時間をかけなければいけない、まだまだしゃべる子というのは限られてしまっていたり

とか、もしかしたら事前に準備しておかないと話せないのではというところがあると思いますが、これがもっとも子供たちが自発的にいろいろな言葉がけができたり、自発的な発表ができたり、コミュニケーションがとれるようになると、もっとさらによくなっていくのではないかと感じました。

これから英語が教科化されていきます。生の英語に触れるということも非常に大事なことです。いろいろな難しさはあると思いますが、いろいろな学校で体験できるようになっていけると良いと感じました。

- 柿本 ありがとうございます。
教育長 ほかにないようでしたら、報告に対する質疑のほうは終了させていただきます。

◎議 事

- 柿本 それでは、議事に入ります。
教育長 議事について、委員の皆様から何かご提案はございますか。
(「なし」の声あり)

◎その他

- 柿本 それでは、その他に入ります。
教育長 「大和市教育委員会に会議における報告事項に関する申合せ」に基づく報告について。

溝口学校教育課長。

- 溝口 学校教育課長 それでは、通学路の安全対策に係る要望とその対応状況についてご報告いたします。

11月に福田小学校から通学路の安全対策として、ガードレール等の設置や路面表示に関しての要望が提出をされました。星印がついている部分は合同点検希望箇所でございます。既に、関係各課には要望をお伝えしてありますので、対応結果について、また会議でご報告をさせていただきたいと思っております。

以上でございます。

- 柿本 質疑、ご意見等ございましたらお願いいたします。
教育長 (「なし」の声あり)

それでは、事務局より何かございますか

(「ありません」の声あり)

委員の皆様から何かございますか。

(「なし」の声あり)

特にないようでしたら、12月の会議の日程をお知らせいたします。

12月定例会は、12月26日木曜日、午前10時からを予定しております。

◎閉 会

○柿 本 以上で、本日の日程は全て終了いたしました。

教育長 これにて教育委員会11月定例会を閉会いたします。

閉会 午前10時25分